



# 十文字西 公民館だより

■令和3年度－4号  
令和3年8月1日発行  
〒019-0513  
十文字町植田字一ト市330  
☎ 44-3100 FAX 44-5243



十文字西地区交流センター長（兼）公民館長  
近 孝夫

今、日本では、コロナ禍でのオリンピック（殆ど無観客）により国内の人流が益々増加し、加えて熱中症対応やゲリラ豪雨等により歓喜と落胆の日々が続いています。1964年（昭39）の東京オリンピックに続き2回目のオリンピック・パラリンピックが実施されます。今回はパラリンピックについて考えてみたいと思います。  
※横手市では、大雄村田村地区でとれた泥炭「田村根っこ」から火を採火します。



## ●オリンピックとパラリンピックの聖火の採火場所が何故違うのか？

### ★オリンピック聖火

オリンピックの発祥地であるギリシャのオリンピアで採火した火が開催国に送られ、各地を巡り開催都市まで運ばれる。

### ★パラリンピック聖火

イギリスのロンドン郊外のストーク・マンデビルで採火した火が開催国に送られ、さらに開催国各地で採火された炎が1つに集火され、パラリンピック聖火としてリレーの形で各地を巡り開催都市まで運ばれる。

## ●パラリンピックの起源は？

1948年(昭23)に、医師ルードウィヒ・グッドマン博士の提唱によって「ロンドン郊外のストーク・マンデビル病院内で開かれたアーチェリー競技会」がきっかけ。第2次世界大戦で主に脊髄を損傷した兵士たちの、リハビリの一環として実施したこの大会が回を重ね、1952年(昭27)に国際大会になった。

## ●オリンピックとパラリンピックが同じ会場で実施されるようになった過程は？

オリンピックの時に同じ会場で実施することは1960年(昭35)ローマオリンピック、1964年(昭39)東京オリンピックで実現するが、1968年(昭43)メキシコ大会からは同じ会場での開催は途絶え、再び開催できたのは1988年(昭63)ソウル大会であり、世界61カ国、3,057人の障害を持つ選手が出場した。「視覚障害者と知的障害者を除く」ソウル大会は、「パラリンピック」という名称の正式使用を国際オリンピック委員会 (IOC) に認められた大会だった。まだ国際パラリンピック委員会 (IPC) という組織がなく、IPCが発足するのは翌年1989年(平1)、発足後に1960年(昭35)ローマ大会を「第1回パラリンピック」と遡って位置づけ、以降の各大会は「パラリンピック」と呼んでいる。

## ●パラリンピックの名前の由来は？

パラリンピックという名は「Paraplegia(対まひ者)」の「オリンピック」と解釈をして、1964年(昭39)東京大会で生まれた愛称。後にもうひとつの (Parallel) + オリンピック (Olympic) という意味で、「パラリンピック」という公式名称も定められた。

### 求められる共生社会



「Share Your Light / あなたは、きっと、誰かの光だ」に基づいてこの大会を契機に共生社会を実現し、人と人・人と社会との「新しいパートナーシップ」を考える絶好の機会にしたいと思います。

その実現に向け大事なものは、今回のパラリンピックを通して障害の有無や年齢性別、国籍等を問わず、全ての人々が互いに尊重し合う社会を目指すべきであります。

\*キーワードは「共生」であり、それはスポーツで養われます。

# ふれあいサロン（羽場）



★令和3年7月13日(火)午前11時00分～ 羽場生活センターにて

今回は、羽場いきいきサロン（社協事業）の会場におじゃまして交流してきました。

恒例の替え歌コーラスから始まり、健康の駅職員による、らくらく体操と認知症予防クイズにも熱心に取り組んでいました。その後のお楽しみ会から合流し、歴史書の「植田の話」を参考にしながら昔の町並みや暮らし等について談笑し、地域の皆さんからは先祖の話等、色々とお教えてもらい充実した時間となりました。



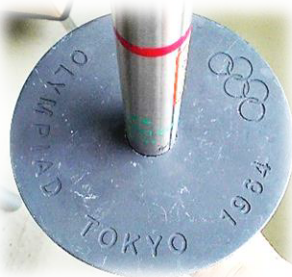
お知らせ

## 地区民大運動会は中止します



●8月29日（日）に予定していた地区民大運動会ですが新型コロナウイルス感染予防を考慮して、今年も中止することになりました。地域の皆さんと楽しく集える日が早く戻ることを願っています！

●次に、オリンピックに因んだ事を紹介します。  
御存知の方もいらっしゃるでしょうが、植田地区民大運動会の聖火リレーで例年使用していたトーチは、1964年（昭和39年）の東京オリンピックの聖火リレーで使用した時の物を譲り受けたとのこと。大変貴重なものを使わせてもらっていたんですね。  
これも地域のお宝のひとつですね！



★土用に入り1年で一番暑い季節になりました。コロナウィルス感染予防ともども、体調管理に気を付けましょう！



★みなさんは自然災害への対策を日ごろから心がけていますか？今年も防災に関する「安心安全教室」を9月に開催します。詳細は後日お知らせしますので、どうぞ御参加ください！

